

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 05-008

PDCA	事務事業名	情報公開・個人情報保護事務	部課等名	総務部 総務課 総務担当	担当	羽根	
					内線等	246	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりともに高め合うまち					
		節： 第1節 協働のまちづくりの推進					
		基本施策： 1. 市民協働の推進					
		単位施策： (2) 情報共有の推進					
	根拠法令等	個別施策： ①広報活動及び情報提供の推進					
	根拠法令等	半田市個人情報保護条例、半田市情報公開条例					
	対象・目的	市民の知る権利を保障し、市の諸活動に係る説明責任を全うするとともに、市の保有する個人情報を適正に取り扱う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・情報公開条例に基づき、公開請求された行政情報について公開の可否を決定し、請求者に開示する。 ・個人情報保護条例に基づき、行政情報としての個人情報を適正に管理する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①情報公開・個人情報保護審査会開催回数	1	2	3	回	
		②情報公開・個人情報保護判定委員会開催回数	0	0	0	回	
		③情報公開請求及び自己情報開示請求件数	92	58	50	件	
		事業費	0	118	118	千円	
		人件費	2,400	2,221	2,186	千円	
		総事業費	2,400	2,339	2,304	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①申請件数1件あたりの事務経費	26,087	40,328	46,080	円	
	②						
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①個人情報等漏えい事故件数	実績値	0	0	1	件
			目標値	0	0	0	
		②	実績値				
		目標値					
③		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	小さい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	C					
		情報公開請求等に対し、適正かつ迅速に対応することができた。 一方で、市の保有する個人情報の適正管理については、市内こども園において、職員が個人情報を含む書類を持ち帰った際に盗難にあい、園児15名分の個人情報（氏名・性別・生年月日）が記載された書類を紛失する事案が発生した。 毎年5月に職員ポータルを通じて公文書及び個人情報の適正管理について職員に周知しているが、個人情報の管理に対する意識の低下が懸念されるため、さらなる意識の向上に取り組む必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		行政情報を適正に管理し、市民の知る権利を保障する情報公開制度及び個人の権利利益を保護する個人情報保護制度を適切な運用を継続する。 また、個人情報の適正な管理については、職員の理解及び意識の向上を図ることを目的として説明会を実施し、適正な運用ができるようにする。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①個人情報等漏えい事故件数	0		件		